

80 薬用樹木カギカズラの増殖・栽培 技術の開発とその利活用



WebA°-ジ°

技術のポイント

カギカズラは、房総半島以西の常緑樹林内に自生するつる性樹木です。トゲを付けた枝は生薬「チョウトウコウ」であり、ストレスや高血圧および認知症の周辺症状の改善のための漢方薬に配合されていますが、現在は全てが中国産です。国産カギカズラを利用するため、組織培養による苗木増産や栽培・収穫技術の開発、優良系統の選定を行っています。また、非薬用部位である葉の有効活用に向け、機能性の評価も行っています。

連携・橋渡しの方向

国産カギカズラの利活用の実用化に向け、栽培試験、医薬品の製造・販売、葉の有効活用方法の開発と商品化を行う方との連携を希望します。

詳細情報

- 栽培等マニュアルや系統特性表を「カギカズラ」の手引きとして作成しています。
下記URLよりお問い合わせください。
<https://www.ffpri.affrc.go.jp/fbrc/kenkyushokai/kenkyunaiyo.html>
- 特許：特開2024-124359（葉の機能性について）

担当者

森林バイオ研究センター・谷口 亨



図1 組織培養で作製したクローン苗
栄養分や植物ホルモンなどを加えた培地で枝の節部切片を培養するとクローン苗を作製することができます。



図2 優良系統の選定のための植栽試験
植栽2年目でつる(主茎)の長さが3～4m程度になる系統もあります。

■ 謝辞

本研究の一部は、生研支援センター・イノベーション創出強化研究推進事業「国産のつる性薬用樹木ギカズラの生産技術の開発と機能性解明に基づく未利用資源の活用」(R2～4)により実施しました。

森林産業実用化カタログ2025



お問合せ先

国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所
社会実装推進・知財戦略室

E-mail: sangaku@ffpri.affrc.go.jp

URL: <https://www.ffpri.affrc.go.jp/sangakukan/index.html>